

令和6年度 第2回 大阪市立北中島小学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立北中島小学校  
校 園 長 名 坂 幸之介

日 時	令和6年10月30日(水) 19時00分～20時20分(1時間20分)	
場 所	大阪市立北中島小学校 小会議室	
出席者	委員	宮崎委員長、住友委員、林委員、渡士委員
	など	岩寄委員、長友委員
	校 園	坂(校長)、米倉(副校長)、杉田(教頭)
	区役所	岡本区長、米田課長(窓口サービス課)
議 題	(1) 令和6年度「運営に関する計画」中間評価について (2) 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果概要について (3) 創立150周年記念行事について (4) 学校の取り組みについて ・自主教材「きこうよはなし」の取り組み ・登校支援の取り組み ・東校舎建て替え工事の進捗状況 (5) その他	
協議 要旨	協議の結果	
	意見の概要	
	(1)	○令和6年度「運営に関する計画」中間評価について、学校長からの説明により理解が得られ、原案の通り承認された。  ・児童用端末にはどんな使い方があるか。また、セキュリティは大丈夫か。 →大阪市教育局がセキュリティを整備している。 ・「心の天気」や相談連絡機能を使った相談は、学校長も行っているのか。 →毎朝、「心の天気」や相談連絡機能、ミマモルメを確認している。 ・相談連絡機能での相談件数はどれくらいか。 →数えるほどである。 ・子どもが端末を使って学習をすると、内容を覚えるのが早い、忘れるのも早い。将来的に困らないために、どう使うかを大事にしながら、書いて覚えることとのバランスが大事である。
	(2)	○令和6年度全国学力・学習状況調査の結果概要について、学校独自の観点でまとめたデータを併せて提示し、学校長からの説明により理解が得られ、原案の通り承認された。  ・「子どもが幸せな気持ちになる」「主観的幸福感」を大切にしているという説明があった。見守り隊として、あいさつ運動に参加していると、1学期は塞いでいた子が、2学期は表情が豊かになったのを感じたことがある。着衣のみだれが無くなり、周りの子に溶け込むようになった。そんな自分の変化を幸せと感じられているのだろう

			か。アンケートで否定的に回答した7%の子どもたちの気持ちを汲み取ることを、学校、地域だけでなく家庭もがんばらなければいけない。
	(3)	○創立150周年記念事業について、学校長からの説明により理解が得られ、原案の通り承認された。	・特になし。
	(4)	<p>○学校の取り組みについて、学校長及び副校長からの説明により理解が得られ、原案の通り承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主教材「きこうよはなし」の取り組み</li> <li>・登校支援の取り組み</li> <li>・東校舎建て替え工事の進捗状況</li> </ul>	<p>・不登校の児童数については、比較対象（他校や市平均など）がないと分かりにくいのではないかな。</p> <p>→その考えも分かるが、30日以上という規定があり、それをもとに対応している。</p> <p>・北中島小の不登校の人数を多いと捉えるかは難しい。不登校は社会全体の問題になっており、行政が対応することでもある。学校の問題ではなく、大元である親を教育することも必要になっている。専門家がどう分析するかという、大きな問題である。</p> <p>・不登校や長期欠席の理由を、学校が把握していることにすごさを感じる。</p> <p>・本来は親がすべきことを、学校が表に出せないところで動いてくれているのがよくわかる。</p> <p>・子どもは社会的弱者。周りの大人が見ていかないといけない。精神的に弱い人に対しても同じことである。</p> <p>・北中島地域活動協議会の運営委員会で、資料の学校だよりや自主教材を出してもらってはどうか。地域の中で子どもに関わる人たちにも、学校の動きが伝わる。</p>
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和6年度「運営に関する計画」（中間評価）</li> <li>○ 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果</li> <li>○ 創立150周年記念・新校舎竣工記念事業委員会（案）について</li> <li>○ 北中島プログラム【きこうよはなし】</li> <li>○ 学校だより</li> </ul>		
備考	傍聴者[ 0 ]名 <hr/>		